

町史編さんだより

第10回

『不動ヶ嶽の植生調査』

～環境小委員会が現地調査～

「町史編さんだより」の10回目は、環境小委員会の調査状況をお知らせします。

不動ヶ嶽 (昭和58年での撮影)

冬期間の調査

冬になり環境小委員会は、野外での調査が困難になってきました。ところが今年の正月は雪が無く比較的穏やかな天候に恵まれました。そこで1月3日に、かねてから一度は調査をしてみたいと考えていた中菅地区にある不動ヶ嶽(以下不動山)の調査に行きました。不動山は、尼子と毛利の古戦場となった場所として有名です。山頂付近には祠があり、かつては遠方からも参拝する人が多かったそうですが、今では参道も松食い虫被害で枯れたアカマツが倒れ道を塞いだりしていました。道端に転々と並んでいるお地蔵様も何となく寂しそうです。

不動山の南斜面

不動山の祠あたりまで登ると地形は急峻となり、花崗岩の大きな岩壁が現れてきます。南



▲オサシダ

向きの岩壁の上には、ゲンカイツツジが多く見られ、手の届かない場所には、ラン科のセッコクもみられました。ゲンカイツツジは、中国地方以西に分布し、県内では日野町と日南町だけに自生しているツツジで、林の中などに生育することはなく、露岩の上に生育するツツジです。そのほかには、ナンキンナナカマドやガンピなどの生育を確認しました。急峻な岩壁の下に回り込むと、そこには鳥取県西部地区では生育が稀なオサシダが見つかりました。記録用に数枚の写真を撮影し、山頂まで登っていきました。

今回の調査目的

今回の大きな目的は、今から40年以上前に不動山の北東側のがけでミスゴケを見たことがあり、このミスゴケの生育を確認することでした。ミスゴケは、園芸などに使用され、販売もされています。このミスゴケ



▲ホソベリミスゴケ

ケは、オオミスゴケという種で、主に標高の高い場所の湿原や放棄された休耕田などに生育しています。町内でも久住地区などの湿地で生育が確認されています。しかし、今回の調査対象は、湿原のミスゴケでなく断崖絶壁に生育しているミスゴケで、この生育確認と種の同定をするためでした。

不動山北向き斜面

不動山山頂から北向きの茗荷谷側のがけを上から少しずつ下りながら調査を行いました。がけの横は急峻な谷地形となっており、そこを滑落しないようにササや木の枝を頼りにがけをのぞき込みながら植生を調べました。北向きの斜面のためホンシャクナゲやヤマグルマなどの木本と、岩壁の下部には無数のオサシダが群生していました。このオサシダの群落は、県内でも最大級と思われる。岩壁の亀裂部分には、ヒメコマツ(五



▲ヒメコマツ

葉松)の幼木も見られました。ミスゴケを確認

調査を始めて100メートル以上下りましたが、ミスゴケは見当たらず、過去に伐採されたため環境の変化で無くなったのか、場所が違うのか不安になってきました。急斜面を再び登ることもできず、そのまま下っていくのがけの終点に近づき、終点付近の水のしたたる斜面を見ると、そこに僅かばかりのミスゴケが生育していました。滑りやすく足がかりのない斜面でしたが、何とか近づいて写真を撮影し、少しだけ標本用に採取しました。肉眼で見てもオオミスゴケでないことがわかりますが、ミスゴケ類の正確な種の同定は顕微鏡で確認する必要があります。そのためこのサンプルは、慶応大学でコケ類の専門家である有川教授に送り、現在、種の同定をお願いしています。おそらくホソベリミスゴケという種であろうと思われるが、そうすると県下では2カ所目の生育地となる可能性があります。今後環境小委員会では、雪解けを待つて地形地質やオオサンショウウオなどの両生類の調査を行う予定です。(矢田貝繁明 自然環境小委員会)

【日野町図書館 おすすめの1冊コーナー】

職員が勝手に
ススめる1冊♪
“今読みたい本”が
見つかるかも!?

読んでみたらんかな～



『ベスト・セレクション 初版グリム童話集』

グリム兄弟 著 / 吉原高志・吉原素子 翻訳 / 白水社

私がおすすめる1冊は、グリム兄弟によって再話された「グリム童話」です。「グリム童話」と言えば、「シンデレラ」「赤ずきん」「長靴をはいた猫」など、小さいころに読んだ馴染み深い童話ではないでしょうか。

今回紹介するのは、グリム童話の初版で、一般的に知られている物語とは様相が異なっています。現在知られているグリム童話は、グリム兄弟が子ども向けにするため、修正を何度も加えたもので、初版は、スリルやサスペンスと言った要素が強く描写されており、大人が読んでも強いインスピレーションを受ける作品となっています。

話は変わりますが、近年某通信会社のCMで、「桃太郎」「金太郎」「浦島太郎」など子どものころに読んだおとぎ話のキャラクターたちを目にした事はあるかと思いますが、シリーズ化し、数年以上続いているのは、そうしたキャラクターが、大人になって忘れていた童心を呼び起こしているのではないだろうかと思ってしまう。

初版グリム童話、グリム兄弟が世に出してから、200年以上続く名作です。新しいグリム童話の世界に浸ってみてはいかがでしょうか。



この本を紹介してくれたのは…

えんどう あきひろ
産業振興課 遠藤 顕弘 主事

遠藤さんからひと言：

「私は、産業振興課で農業補助金の交付事務などを担当しています。中山間地にある日野町には農村集落が多く、高齢化や過疎化といったさまざまな問題を抱えながら、高齢者の方々が中心となって農地を守っており、若い農業者の確保が最優先の課題となっています。

町では中山間地域等直接支払交付金など、さまざまな農業支援を行っています。私も担当者として、少しでも皆さんの力になりたいと考えています。何か困ったことや相談ごとなどがありましたら、気軽に声を掛けてください」



教育委員会からのお知らせ

2月2日に教育委員会を開き、次の案件について報告・協議されました。

●平成28年度日野町一般会計補正予算（第8号）について

3月議会に提案予定の補正予算について提案し承認されました。

▼スクールソーシャルワーカー活用事業の県支出金の変更に係る財源振替

▼菅福社会体育館浄化槽放流ポンプの交換

▼法務省委託「人権関係」事業精算による減額

●平成29年度教育関係予算の概要説明

平成29年度の教育関係予算の概要について説明

【主なもの】▼根雨小、黒坂小の理科室等空調工事
▼歴史民俗資料館照明修繕 ▼英語教室等開催事業

▼コミュニティスクール導入事業 ほか

●西部地区町村社会教育研究大会について

2月26日に日吉津村で開催される研究大会についての報告

《次回の予定》

日時：3月1日（水）午前9時 場所：役場会議室 ※会議は公開しています。お気軽にお出かけください。